

学校教育目標	自分育て	経営理念 ミッション・ビジョン	<p>【ミッション】(学校の使命) 様々な人々と協働し、失敗を恐れず果敢に挑戦し続け、新たな価値を創造することのできる人材の育成。</p> <p>【ビジョン】(学校のめざす姿) 目指す学校像 ○繋がりの中で育つ学校 ○安心・安全な学校 ○保護者・地域から信頼される学校</p> <p>めざす児童像 ○自ら学ぶ子(考え表現する力) ○自らかかわる子(対話力・人と関わる力) ○自らきたえる子(たくましさ)</p> <p>めざす教職員像 ○授業を大切にせる教師 ○子どもを大切にせる教職員 ○チームで取り組む教職員</p>
<p>ビジョン(中間経営目標)実現に向けての現状(進捗状況)と今年度の位置づけ</p> <p>1 自ら学ぶ 確かな学力の定着のために、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を図る。「学び合い」のある授業づくりのために、学習者主体の授業づくりや対話の質的向上と振り返りの充実を図る。主体的・探究的な学習の授業を実践するために「本質的な問い」の解を求めて、探究し続けるための手立てを工夫する。ICTを効果的に用いて、深い学びにつなげる。</p> <p>2 自らかかわる 豊かな心を育成するために、特別活動の充実を図る。スマイルグループ活動や異学年交流の充実を図り、学級活動、児童会活動、学校行事の充実を図り、互いを認め合う集団づくりをめざす。学習や生活の心がまえづくりのために、「東っ子三つの約束(時間、名札、廊下歩行)」と生活目標(挨拶、掃除、靴そろえ)の定着を図る。また、日々の授業においても、対話や合意形成の場を大切にしていける。</p> <p>3 自らきたえる 体育科の授業改善、走力の向上(50m)、めあてをもった体力づくり、運動の日常化を図る。家庭と連携し、メディアの利用時間を短縮し、よりよい生活習慣を確立する。外部人材等を活用して学級活動を工夫し、健康、安全教育、食育の充実を図る。また、体を動かすことを「楽しい」と思えるような児童の育成を目指す。</p> <p>4 家庭・地域との連携 社会に開かれた教育課程を目指し、カリキュラム・マネジメント、コミュニティ・スクールの充実を図る。学校だよりやホームページを充実させ、積極的に情報を発信し、繋がりの中で教育を実践する。保幼小の接続と義務教育9年間を見通した小中連携を行う。「子どもと向き合う時間」を生み出す働き方改革に全職員で取り組み、質の高い教育活動を推進する。</p>			

評価計画		評価結果						
中期(3年間)経営目標	短期(今年度)経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値(%)	8月		1月	
					達成値	評価	達成値	評価
a 確かな学力	1 自ら学ぶ (教務部)	ドリルタイムの内容を学校で統一し、基礎的、基本的な内容と発展的な問題に交互に取り組み、理解を深める。探究的な学習を支える話し合い活動が、建設的なものになるように、話し合いの視点を示す。	単元末テスト(国語科・算数科)における、知識・理解、思考・判断・表現の合計得点率が80%以上の児童の割合	80%				
			児童アンケート「相手の意見を受け入れ、合意形成の手段を用いながらより良い考え・方法を見つけています。」において肯定的に回答する児童の割合	80%				
b 豊かな心	2 自らかかわる (生徒指導部)	挨拶、掃除、学習の場面において、「○○名人認定」やバッジによる肯定的評価を行う。 学級活動・係活動・児童会活動・委員会活動・クラブ活動・スマイルグループ活動・代表委員会の特別活動をより充実させる。	児童アンケート「自分のよさは、周りの人から認められています。」において肯定的に回答する児童の割合	80%				
			児童アンケート「学級・学校の役に立つように進んで行動しています。」において肯定的に回答する児童の割合	85%				
c 健やかな体	3 自らきたえる (健康安全部)	「東っ子体操」や「なわとび大会」、「アクティブチャイルドトレーニング」、外遊びの奨励などの取組を生かし、運動の習慣化を図る。 「パワーアップチャージ」を通して、自分の身体の健康を保つため、基本的な生活習慣を身につけさせる。	児童アンケート「体を動かすことが楽しい。」において肯定的に回答する児童の割合	80%				
			「パワーアップチャージ」の取組で、「寝る1時間前にメディアを切る」の項目において5日間〇の児童の割合	80%				
d 開かれた学校づくり	4 関わり合い 繋がり合う	働き方改革を推進し、「子どもと向き合う時間」を確保することにより、日々の業務に対する充実感や達成の向上を図る。 ホームページの更新や学校便り・学年便り・保健便り等の発行を定期的に行うなど、学校の情報を積極的に発信する。 地域と教職員の協働した取組を推進する。	業務改善に係るアンケート①「児童と向き合う時間が確保できている」②「日歩の業務の充実感」において肯定的に回答する教職員の割合	85%				
			保護者アンケート①「本校教育に満足している」②「進んで情報公開している」において肯定的に回答される保護者の割合	90%				

A:100 目標達成 B:99~80 ほぼ達成
C:79~60 もう少し D:59~0 できていない

結果の分析・解釈			

改善方策案 (9月)			

成果・課題(今後に向けて) (2月)			

学校関係者評価を受けての改善方策(修正)			